

Instagramで「映える」福祉 人材確保に新たな活路



大阪の社会福祉法人が、Instagramを広報活動に取り入れたところ「映える」状況が起き始めた。今やコミュニケーションツールの主流となったInstagram。人材不足に悩む福祉業界で救世主になる可能性を秘めている。

成果を挙げているのは、社会福祉法人「晋栄福祉会」。大阪、兵庫、奈良で介護施設17カ所、保育施設24カ所を運営している。

福祉業界の人材不足は深刻だ。2018年11月の職業安定業務統計によると、有効求人倍率は介護サービス人材で4.3倍と高く、人材獲得競争は年々激しさを増している。

晋栄福祉会は、昨年からは各施設のホームページの刷新に取り組んだ。表示をスマホ対応にし、ツイッターやInstagramなどのSNSを導入。就職フェアなどで興味を持ってくれた学生が、施設訪問をしなくても、動画などで手軽に職場の雰囲気を知る機会を増やすことを狙った。成果は、各施設で現れた。

今年7月1日に開校した特別養護老人ホーム「神戸垂水ちどり」（神戸市）は、1年以上前から若手職員がInstagramに施設の建設工事の進捗や、共に働くことになる仲間のプロフィールを紹介した。周辺の観光・グルメスポットなどの写真も含めて300件以上を投稿。

その結果、介護福祉士などのスタッフ50人が短期間で集まった。新規採用者の約8割がInstagramをチェックし、3割がウェブサイト経由でエントリー。若い職員は楽しんでインスタ投稿に協力している。スマホ世代の彼らにとって、写真や動画は「撮る」のも「撮られる」のもハードルが低い。SNSでの発信は「負担」ではなく「楽しみ」であり、多くのお金を掛けた宣伝より、はるかにリアルを生み出せるツールだ。投稿数が多ければ多いほど、そこから得られる情報は説得力を増し、働く世代に影響を広げる…それが新時代の福祉をひらく力になるのかもしれない。

～介護ビジネス研究会のご案内～

医療・介護・障がい福祉の経営者(幹部)のための隔月勉強会です。特別セミナーと勉強会(座学セミナーによる業界最新事例の+事例交換会)を基本とする経営塾です。経営者様が抱える問題・疑問及び、他社はどのようにして解決しているのかを共有することで、自社のみならず、スタッフ・利用者・家族、地域にとっても有益な情報をご提供して参ります。開催が近づきましたらDMでお知らせいたします。是非ご参加ください。

ホームページでも随時
情報を更新しております。

介護ビジネス研究会



岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当: 苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL: 0120-337-301

FAX: 0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

mail:kariya@nodakensetsu.co.jp

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要